

証券コード 5161

第65期 株主通信

2013年4月1日から2014年3月31日まで



五月晴れ・花市 1985年(昭和60年)西川一平(前会長)



西川ゴム工業株式会社

売上高

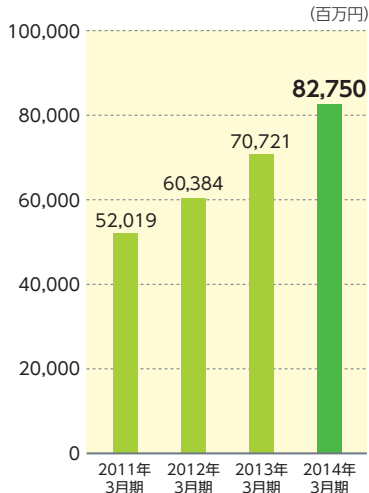
82,750

百万円



(前期比)
17.0%増

北米・中国を中心とした海外での自動車生産台数の増加と、国内での消費税率引き上げ前の駆け込み需要を背景に、前期比17.0%増加しました。



経常利益

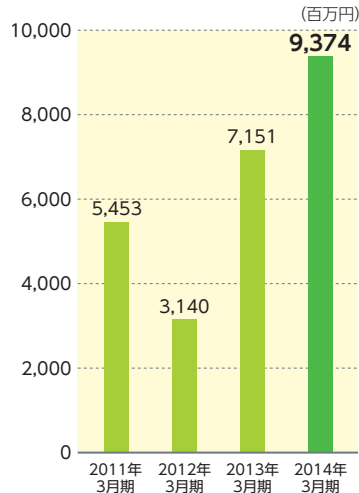
9,374

百万円



(前期比)
31.1%増

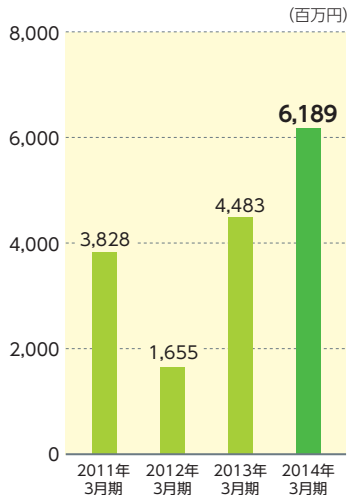
グローバルでの販売増加、継続的な原価低減活動の推進に加え、円安基調の為替影響もプラスとなり、前期比31.1%増加しました。



当期純利益

6,189
百万円
↑
(前期比)
(38.0%増)

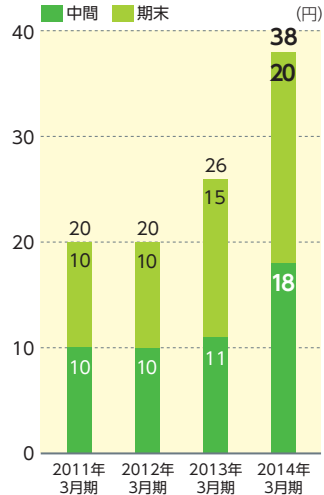
前期比38.0%増加し、
過去最高益を更新しまし
た。



1株当たり年間配当金

38
円
↑

当期の期末配当金は1株につき20円(普通配当18円、記念配当2円)とさせていただきます。年間配当金は中間配当金18円とあわせて1株につき38円(普通配当36円、記念配当2円)となります。





株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループ第65期株主通信をお届けいたします。

代表取締役社長

西川 正洋



第65期の事業環境と業績について教えてください。

Answer

この一年を振り返りますと、国内においては、政府による経済対策の効果などを背景に、一部で景気に明るさが見えてきたと感じています。一方海外では、米国経済が回復しつつありますが、新興国の景気減速や特定地域の政情悪化など、まだまだ不透明な状況が続いています。

こうした状況の中、今期の連結業績は、売上高827億50百万円(前期比17.0%増)、経常利益93億74百万円(同31.1%増)、当期純利益61億89百万円(同38.0%増)となり、いずれも過去最高の成績となりました。

好調の背景として、北米・中国を中心に海外で自動車の生産

が堅調であったほか、円安も収益に寄与した点が挙げられます。また、自動車用部品事業、一般産業資材事業ともに、消費税率引き上げ前の駆け込み需要もプラス要因となりました。

Q 今期、重点的に活動した内容を教えてください。

Answer まず一つ目は、「海外生産の拡大」です。昨年9月にメキシコ、そして今年1月にはインドネシアで量産稼働を始め、当社グループの海外生産拠点は6カ国に広がりました。各拠点において、高品質の製品を安定的に供給していくため、国内の技術者を現地に派遣し、ロスを生まない生産管理などのノウハウを水平展開しています。

そしてもう一つは、「超発泡技術の開発」です。この技術は、自動車のドアを通過する騒音を低減するドアホールシールの性

能向上や、ドア部以外への適用拡大を目的として、発泡技術の深耕によって進化させた技術です。異種材料との複合化技術などとの組み合わせにより、さらなる防音性向上を実現しました。これらの技術開発の結果、次世代のドアホールシールを開発することができ、今後これを市場投入していきます。防音性は今後も当社の重要な開発キーワードだと考えています。





今後の展開についてお聞かせください。

Answer

2014年度は、2012年に発表した「2020年ビジョン」第1フェーズ(2012年度～2014年度)の最終年度となりますので、経営計画を着実に遂行し、新たな成長ステージに移行するための基盤を確実なものにしていきます。

そして、2015年度からの3年間については、第2フェーズとして、更なる成長にチャレンジすることとなります。連結売上高1,000億円、連結営業利益率およびROA(総資産利益率)をそれぞれ10%以上にする



助走

第1フェーズ

2012 — 2014

成長

第2フェーズ

2015 — 2017

飛躍

第3フェーズ

2018 — 2020

2020年ビジョン

という目標を可能な限り早期に達成するため、「更なるグローバル展開」、「原価低減活動の推進」、「新規事業の体制強化」など、主要な施策に全社員一丸となって取り組んでいきます。



会社のシンボルマークを一新されましたね。

Answer

新しいシンボルマークは、社名の「nishikawa」の頭文字の「n」をモチーフに、チャレンジによって新しいものを生み出

していく姿勢と、伝統を重んじながら未来へ向かって飛躍する様を表現しています。これまでは、各グループ会社がそれぞれの略称をデザインしたマークを使っていましたが、この度制定したシンボルマークは、グループ会社が共有で使うことができるデザ

新しいシンボルマーク

知性・洗練を感じさせる
シルバーの「丸」は、
チャレンジにより
生み出された
「新しいもの」を
示します。



nishikawa

曲線基調の小文字ロゴタイプは、親しみやすさと柔軟さを表現しつつ、先進的、グローバルなイメージを併せ持ちます。

nishikawaの「n」をモチーフとし、未来へ大きくジャンプする躍動感をダイナミックに表現しています。(二つの半円は「発泡」のイメージも持ち合わせています)カラーは若々しさや、しなやかさを感じさせる当社の伝統色「若草色」です。

インです。海外拠点が増える中、さらに一体感を強め、グループ会社が一丸となって、「2020年ビジョン」の実現を目指します。



最後に株主へのメッセージをお願いします。

Answer

当社は、今年12月で創立80周年を迎えます。これもひとえに、株主の皆様をはじめ、関係各位のご支援、ご協力の賜物と心から感謝しております。

今期の期末配当については、普通配当1株につき18円(前期比3円増額)に加えて、創立記念配当(1株につき2円)を実施し、あわせて1株につき20円とさせていただきました。

当社は、今後も安定配当を継続することで、当社を長くご支援いただいている皆様に報いていきたいと考えております。変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

インドネシアの新工場が本格稼働

今年1月、当社グループのインドネシア現地法人「PT. NISHIKAWA KARYA INDONESIA」の新工場が本格稼働を開始しました。3月27日に開催した工場の開所式には地元の政府関係者、得意先様など、合わせて80名余りの関係者が集まり、盛大に祝いました。



社屋の外観

当工場は、日本で培った高い生産技術を強みとして、高品質な自動車用ウェゼース

トリップを効率良く生産し、インドネシア国内の日系自動車メーカーへ納入します。

また、同社ではタイ現地法人に勤務しているタイ人の営業マネージャーをインドネシアへ赴任させ、営業責任者としました。現地採用の外国人を他国の拠点に移すのは、当社グループとして初の試みです。東南アジアの事情に精通した人材の活用によって、現地での事業展開をスムーズに進めるとともに、今後も拡大する新興国市場に的確に対応していきます。



開所式の様子

中国・広州に第2工場が完成

今年3月、「広州西川密封件有限公司」の工場敷地内に、第2工場が完成しました。これによって、精練から押出、仕上げまでの生産を一貫して行える体制が整いました。第1工場には精練と押出工程を集約、第2工場には仕上げを中心とした工程を構築し、今後本格的な稼働を開始する予定です。

広州は複数の日系自動車メーカーが、同一地域内に工場を構えている地域です。中国市場の成長に伴い増産が続く日系自動車メーカーに

対し、これまで以上にきめ細かく対応していきます。



完成した第2工場

ホームページをリニューアル

当社のホームページを一新しました。製品・技術紹介をはじめ、CSR情報、採用情報などのコンテンツの充実を図るとともに、IR情報では個人投資家向けのページを新たに設けました。ぜひご覧ください。



<http://www.nishikawa-rbr.co.jp>

連結財務諸表(要約)

連結貸借対照表

単位:百万円

科目	当期	前期
	2014年3月31日	2013年3月31日
資産の部		
流動資産	47,841	43,384
固定資産	45,606	38,046
資産合計	93,447	81,431
負債の部		
流動負債	24,902	18,985
固定負債	9,269	11,690
負債合計	34,171	30,675
純資産の部		
株主資本	49,084	47,331
その他の包括利益累計額	7,205	1,143
少数株主持分	2,985	2,279
純資産合計	59,275	50,755
負債純資産合計	93,447	81,431

連結損益計算書

単位:百万円

科目	当期	前期
	2013年4月1日から 2014年3月31日まで	2012年4月1日から 2013年3月31日まで
売上高	82,750	70,721
売上総利益	18,515	15,241
営業利益	8,833	6,805
経常利益	9,374	7,151
税金等調整前当期純利益	9,209	7,120
少数株主損益調整前当期純利益	6,999	5,175
当期純利益	6,189	4,483

連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

科目	当期	前期
	2013年4月1日から 2014年3月31日まで	2012年4月1日から 2013年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,535	10,235
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,685	△ 5,531
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,045	△ 679
現金及び現金同等物に係る換算差額	52	56
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,858	4,081
現金及び現金同等物の期首残高	15,511	11,430
現金及び現金同等物の期末残高	17,369	15,511

会社概要・株式情報 (2014年3月31日現在)

会社概要

社名 西川ゴム工業株式会社
本社所在地 広島市西区三篠町二丁目2番8号
(TEL. 082-237-9371 代表)
設立 1949年(昭和24年)4月
資本金 33億6,448万660円
従業員数 1,320名

役員

(2014年6月27日現在)

代表取締役社長	西川 正洋	取締役	佐々木賢治
代表取締役副社長	山本 文治	取締役	内藤 真
専務取締役	児玉 照三	取締役	京本 敬二
常務取締役	福岡 美朝	取締役	小川 秀樹
常務取締役	片岡 伸和	常任監査役 (常勤)	吉野 毅
取締役	西川 泰央	社外監査役	白井龍一郎
取締役	米山 昌一	社外監査役	大迫 唯志
取締役	丸目 義博		

株式の状況

発行可能株式総数…………… 48,343,000株
発行済株式の総数…………… 19,995,387株
株主数…………… 1,963名

●大株主の状況

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
西川正洋	2,433	12.43
株式会社ハイレックス コーポレーション	1,241	6.34
西川ゴム工業 取引先持株会	961	4.91
株式会社広島銀行	957	4.89
西川泰央	748	3.82

(注)持株比率は、自己株式(416,333株)を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
一単元の株式数 100株
基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
株主名簿管理人
(特別口座の)
(管理機関) 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社
証券代行部
電話照会先 ☎ 0120-782-031
公告の方法 日本経済新聞に掲載する

第65回

定時株主総会 決議ご通知

2014年6月27日
開催の当社第65回
定時株主総会にお
いて、右記のとおり
報告ならびに決議さ
れましたのでご通知
申し上げます。

報告事項

1. 第65期(2013年4月1日から2014年3月31日まで)事業報告
および連結計算書類ならびに計算書類報告の件
2. 会計監査人および監査役会の第65期連結計算書類監査結果
報告の件

決議事項

第1号議案 剰余金処分の件

本件は、原案のとおり承認可決され、期末配当金は1株につき20円
(普通配当18円、記念配当2円)と決定いたしました。

第2号議案 取締役の報酬額改定の件

本件は、原案のとおり取締役の報酬額を年額3億5,000万円以
内とすることに承認可決されました。なお、取締役の報酬額には
従来どおり、使用人兼務取締役の使用人としての職務に対する
報酬は含めないものといたします。

第3号議案 当社株式等の大規模買付行為に関する対応策 (買収防衛策)継続の件

本件は、原案のとおり承認可決されました。

株主優待制度のご案内

毎年7月(予定)に、
西川物産株式会社
(当社100%出資)
が販売するスキンケア
商品ブランド「ナ
チュラブ」シリーズを
お届けします。



所有株式数	優待品
100株以上～1,000株未満	1,000円相当の商品
1,000株以上～5,000株未満	3,000円相当の商品 詰め合わせ
5,000株以上	5,000円相当の商品 詰め合わせ

※上記の写真は優待品イメージです。実際の仕様とは異なります
のでご了承ください。

